

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	発達支援センターひこばえ（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	R7年 9月 15日		～	R7年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	R7年 9月 20日		～	R7年 9月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	R7年 9月 13日		～	R7年 9月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	9	(回答数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 11月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・本人のニーズに応じた支援 （アタッチメント、5領域の視点を踏まえたアセスメント、 集団生活の環境の中での本人実態に応じた支援、環境作りの 配慮等）	本人ニーズ ・ 訪問先と連携しながら本人が安心できる環境作りへの配慮 ・ 実態に応じたアプローチ方法の明確化（視覚的提示等） ・ 実際にひこばえで取り入れている絵カード等を可能な範囲 で園でも導入	・ アタッチメントの形成 ・ 5 領域の視点を踏まえたアセスメント ・ 多職種連携 ・ 集団生活における支援の明確化 ・ 支援者のスキルアップ
2	・ ご家族のニーズに応じた相談援助 （本人の実態への理解に対するアプローチ、不安軽減、集団 生活への理解、支援の方向性の共通理解、いつでも相談でき る窓口の明確化等）	家族ニーズ ・ 集団生活における本人の実態、目標等の共通理解 ・ ご家族、園、ひこばえで担える支援についての共通理解、 支援の方向性の確認 ・ 集団生活に対する不安の軽減	・ 相談援助における支援者のスキルアップ ・ 報告連絡相談における支援者のコミュニケーションスキル アップ ・ いつでもなんでも相談できる（相談しやすい）信頼関係の 構築、環境作り
3	・ 訪問先のニーズに応じた相談援助、助言 （本人が安心して過ごせる環境作り、訪問先のスタッフへの 助言アドバイス・不安軽減、訪問支援を対象外の利用者に対 しても相談できる体制等）	訪問先のニーズ ・ いつでもなんでも相談できる（相談しやすい）信頼関係の 構築、環境作り ・ 集団生活における本人の実態、目標等の共通理解 ・ ご家族、園、ひこばえで担える支援についての共通理解、 支援の方向性の確認	・ 相談援助、助言等における支援者のスキルアップ ・ 報告連絡相談における支援者のコミュニケーションスキル アップ ・ いつでもなんでも相談できる（相談しやすい）信頼関係の 構築、環境作り

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 多様面での支援スキル等において課題や改善点を踏まえた 訪問支援員（他支援員）のスキルアップ （強みとして記載している項目において、強みとして取り組 んでいるからこそ見える課題点・改善点も多い、日々スキル アップ、内容の充実化を図り取り組んでいく）	・ 訪問支援員と事業所内の連携を更に深めながら、訪問先で の本人の実態や環境調整等について共有 ・ 本人の訪問先での集団生活のスキルを身に付けていくため に、基盤となる事業所での支援・後方支援の役割について理 解を深める	・ 引き続き、P D C Aサイクルの充実化、事業所全体で意見 交換できる環境作り、課題検討会やケース検討会を通して随 時検討して取り組む ・ 引き続き、事業所内研修・法人研修・外部研修等において 研修訓練を重ね、知識技術習得を図る
2	・ 訪問支援利用者が多いからこそ、より計画的にニーズに応 じた訪問支援を行う必要がある	・ 訪問先とのスケジュールの調整方法 ・ 計画的なスケジュールの立案	・ 本人、家族、園のニーズの把握 ・ スケジュール管理力 ・ 契約から計画作成、訪問支援実施までの迅速な対応
3	・ 訪問先の訪問支援に対する理解へのアプローチ		・ 訪問先スタッフとの連携体制の強化 ・ 双方での取り組みの理解や共通認識を図る

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		発達支援センターひこばえ（保育所等訪問）					公表日	令和 8 年 2 月 1 日	
							利用児童数	20	回収数 12
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	7	1	0	4		・こどもたちの実態に応じて、実際にひこばえで使用している教材を使用しています。 ・訪問先と相談しながら一緒に作ることもあります。	
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10	0	0	2		・安心してご相談いただけるような環境作りに配慮しています。	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	12	0	0	0			
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	12	0	0	0			
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	11	1	0	0		・国の指定基準に則って職員配置をしています。	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	2		・こどもたちの実態にあった支援、環境作りを考慮しています。日々、研修などを通してサービスの質の向上に努めています。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0			
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	11	0	0	1		・訪問先施設を訪問し、実際に様子をみさせていただきながら、保護者・訪問先施設のご意向をもとに保育所等訪問支援計画を作成しています。	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0		・保育所等訪問支援ガイドラインに示されている項目を確認しながら支援内容を検討しています。	
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		・保育所等訪問支援の計画に沿って支援を行っています。	
保護者への説明	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0			
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	11	0	0	1		毎年ペアレント・プログラムを実施しています。他にも就学に関する学習会・先輩保護者の話を聞く会等の保護者研修会を実施しています。	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	0			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0			

明等	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	11	0	0	1		・保育所等訪問を実施した際に、訪問施設の先生方と検討会議を行い、支援内容の検討や、こどもたちの様子について情報共有を行っています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	12	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	0	2		・法人の会報、事業所のお便り、ホームページなど通して、情報を発信しています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0		・個人情報管理規程を整備し、プライバシーへの配慮とともに職員に周知を図っています。こどもたちや保護者の皆様の情報については、情報提供同意書に基づき同意を得た上で情報提供を行っています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	10	0	0	2		・各種マニュアルの整備にあわせて、非常時のマニュアルは玄関に掲示し来所した際にいつでも見ることができるようになっています。重要事項説明書や通所案内に緊急時の対応や感染症対策についての記載もしています。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		・通所案内にあわせて、安全計画も配布しております。安全計画の内容に基づいて、こどもたちの安全確保のための取り組みを行っています。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	11	0	1	0	・いつも「ひこばえの先生が来てくれたよ」と嬉しそうに話してくれます！自分だけが知っている先生ということでちょっとした優越感を味わっているようです！笑	・貴重なご意見ありがとうございます。保育所等訪問支援の際に、こどもたちの喜ぶ姿を見て嬉しく思います。今後もこどもたちが安心して集団生活を過ごすことができるよう、訪問先施設の先生方との連携していきたいと思います。
	28	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0		・多くのご意見をいただき、ありがとうございました。今後も当事業所のご利用に満足していただけるように誠心誠意努めてまいります。 ・今回、皆様からいただきました、ご意見を参考にしながら、引き続きこどもたちの成長・発達に繋がる支援を皆様と考えていけたらと思います。日頃の当事業所の取り組みについてもご理解・ご協力の程、本当にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
発達支援センターひこばえ（保育所等訪問支援）		令和 8年 2月 1日				
		利用先		回収数		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9	0	0	・困っていることや課題にしていることを実際にみてもらい、具体的に教えていただける。 ・コミュニケーションスキルもあり、連絡会を楽しい雰囲気です過ごすことができる。	・日頃よりひこばえの取り組みにおいてご理解・ご協力いただきありがとうございます。お忙しい中、訪問支援のお受入れや日時の調整をしてくださり感謝しています。今後も連携をさせていただき、こどもたちのサポートができればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9	0	0	・専門的な視点からアドバイスいただき、参考になっている。 ・親子支援・こどもへの支援に関する知識もあり、アドバイスをもとに園でも見直すきっかけになっている。	・それぞれで担える支援、環境調整について、一緒に検討しながら取り組んでいけたらと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9	0	0	・困りごとを相談すると解決策を伝えてくれるのでありがたい。 ・必要な時にこどもや保護者についてアドバイスをしてもらえる安心感があり、気軽に相談しやすい。	・先生方が日々丁寧に情報共有を行い丁寧に連携を図ってくださるからこそ支援に繋げることができています。いつもありがとうございます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	0	0	・園での姿から支援方法を教えていただけるため少しずつ成長に繋がっている。 ・専門性のある回答がもらえて課題解決のきっかけになっている。	・いつもありがとうございます。今後も情報共有を行いながら、一緒に取り組んでいけたらと思います。
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	0	0	・その場で助言をいただき、こどもの成長にあった支援と一緒に考えていただいて心強い。 ・定期的に連絡をしてくださり感謝している。連携をすることで園では見えない園児を知るきっかけになる。	・いつもありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・ひこばえさんに訪問し、療育見学を行う機会も設けていただけるとありがたい。 ・療育施設と保育園との情報共有ができ、共通課題に向けて支援方法が見出せて助かっている。 ・夏季地域連絡会研修では、日頃知り合う機会の少ない施設の方とも話をすることができ、とても勉強になった。今後も声をかけてほしい。				・お忙しい中、いつも訪問支援をお受けいただきありがとうございます。双方でのこどもたちの実態把握や情報交換をより丁寧に行っていければと思います。いつでも、ひこばえへのご来所をお待ちしております。いつでもご相談ください。 ・日々、保育園幼稚園の先生方と連携させていただき、丁寧な本人支援とご家族支援に繋がっています。 ・ひこばえでの研修会へ参加いただきありがとうございます。今後も様々な連絡会や研修会を通して、連携体制の強化とともに地域のサービスの質の向上を図っていければと思いますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援センターひこばえ（保育所等訪問）					公表日	令和 8年 2月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・ こどもたちの実態に応じて、実際にひこばえで使用している教材を使用しています。 ・ 訪問先と相談しながら一緒に作ることもあります。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・ 国の指定基準に則って職員配置をしています。			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・ 日常の業務や行事について、職員間で振り返り改善に努めています。目標設定を行うことで、一人ひとりが意識を持って業務に臨めるよう体制を整えています。 ・ 課題検討会やケース検討会を開催し、随時検討・相談ができる体制、分析・改善に迅速に対応できる体制を整えています。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ 個別面談や日々の電話などを通して、本人、ご家族のご意向を確認させていただいています。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ 課題検討会議などを通して、職員の意見を把握し、日々改善等に努めています。 ・ 職員にアンケートを実施し、意見を集約して改善や次年度の計画に繋げています。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・ 3年に1度外部評価の受審し、毎年第三者評価の自己評価を実施しています。結果をもとに業務改善に繋がる取り組みに努めています。	・ 令和7年12月に第三者評価を受審しました。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・ 月1回以上の職員研修、定期的な法人内研修を実施しています。 ・ 外部研修にも積極的に参加するように計画を立てて取り組んでいます。			
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・ 本人の日頃の様子やご家族との面談を通して得られたニーズを分析し、計画書の作成を行っています。 ・ 多職種と連携を図りながらケース検討会を実施し、本人の最善の目標・支援内容を作成できるように努めています。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ グループケース会議の中で3カ月評価を実施しています。児童発達支援計画の検討会議では多職種で連携しながら支援計画を作成しています。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・ ご意向等を把握させていただき、保育所等訪問支援計画に反映させていただいています。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ 事業所全体、訪問先と保育所等訪問支援計画の内容について共通認識を図り、日々の支援を行っています。			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・ 実態に応じたフォーマルアセスメントの実施と、日々のインフォーマルアセスメントの実施を行い、本人の実態や変化を把握しています。			

適切な支援の提供	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・保育所等訪問計画検討会議では、児童発達支援管理責任者を中心とし、児童発達支援ガイドラインで示されている5領域の項目を確認しながら内容を検討しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・保育所等訪問支援計画に基づき、集団生活・生活面の目標を設定することで、計画に沿って支援を行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・目標や支援内容について、職員間で共通理解を図っています。朝礼やミーティングで周知し、チームで連携して支援を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎日ミーティングを実施し、職員間で振り返りや気づきを共有し、次回の実施・改善に繋がっています。	・随時必要に応じて、検討会やケース会を実施するなど迅速な対応に配慮しています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・訪問先の理念を尊重し、訪問支援の実施しています。支援手法については、訪問先と随時相談しながら、方針に則った内容で計画・実施を考慮しています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋がっているか。	○		・保育所等訪問支援計画の支援に基づき、日々の支援を記録しています。 ・記録をもとに活動内容や個々の支援の検証、改善に繋がっています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にご本人とご家族との面談を実施し、支援の達成度や満足度等の把握、保育所等訪問支援計画の見直しを行い、今後の支援の方向性等について確認しています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者、訪問支援員、児童発達支援の担当者などが参加しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・地域連絡会や公開療育の実施、ネットワーク会議などへの参加、日々のやり取りなどを通して連携体制の強化を図っています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行支援シートを活用しながら、情報を共有しています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・多職種連携を行い、専門士とケース検討を行いながら日々の支援に繋がっています。 ・外部研修への参加に合わせて、法人内研修や事業所内研修、日々のOJT等を通して、サービスの質の向上やスキルアップを図っています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・会議に参加した職員より、全体に伝達を行っています。 ・管理者や児童発達管理責任者が市の児童発達支援センター会議に参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時、電話、面談などを通して、情報共有を図っています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・毎年ペアレント・プログラムを実施し、他にも就学に関する学習会・先輩保護者の話を聞く会など、保護者研修会を実施しています。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に契約書、重要事項説明書を説明しています。変更があった場合は、集会や文書にてお伝えしています。	

保 護 者 等 へ の 説 明 等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・訪問支援を開始する場合は、口頭説明にあわせて、必要に応じて資料を用いて説明しています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・6ヶ月に1回以上実施している個別面談にあわせて随時面談を行い、本人やご家族のご意向を確認しています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・当事業所のお便りや面談などを通して、保育所等訪問支援ガイドラインについてお知らせし、ご家族への周知しています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的な個別面談以外にも、随時面談を設けています。日頃から電話や連絡帳などのやり取りも大切にしています。	
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・ペアレントプログラムや保護者研修、茶話会や親子療育などの行事を通して、保護者同士で交流する機会を提供しています。 ・きょうだい児が参加できる行事も企画しながら交流の場を設けています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談、苦情受付窓口、相談苦情受付担当者、第三者委員の設置について、契約時にお伝えしています。対応についてはマニュアルを整備しており、職員で共通理解を図っています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・法人の会報、事業所のお便り、ホームページを通して情報を発信しています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報管理規程を整備し、プライバシーの配慮など職員への周知を図っています。 ・個人情報に関する書類、データについては鍵付きの棚に保管するなどして取扱いに十分留意しています。	
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・本人の実態や特性を踏まえ、絵カードや写真、手本の視覚的アプローチを積極的に行い、意思疎通ができる環境調整に配慮しています。 ・事業所内だけでなく、ご家庭でも取り組んでいただくなど、ご家族と連携しながら支援しています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・随時対応させていただいています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・訪問先にて面談時間等設けてくださり、十分なカンファレンスを行うことができています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・保育所等訪問の実施後、電話や書面で共有させていただいています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報管理規程を整備し、プライバシーの配慮など職員に周知しています。 ・個人情報に関する書類・データについては鍵付きの棚に保管するなどして取扱いに十分留意しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・日々のやり取りを通して、信頼関係の構築を図れるように努めています。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを整備しており、定期的に見直しを行っております。また、緊急時対応や感染症対応の研修も実施しています。	

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		<div>・安全計画に基づいて研修や訓練を行っています。</div> <div>・月末防災美化点検や日々の清掃なども行いながら安全管理に努めています。</div>	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<div>・朝礼、毎月の職員会議でヒヤリハット事例について共通理解を図っています。事例を集計分析し、対応策などについては随時検討周知しています。</div>	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		<div>・法人内での人権擁護委員会の開催にあわせて、事業所内でも定期的に虐待防止委員会（身体拘束適正化委員会）を開催しています。</div> <div>・法人内外での研修への参加、事業所内研修の実施など虐待防止・権利擁護に関する学びを深め、各職員の意識や行動に繋げています。</div>	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		<div>・現在、身体拘束を行う事例はありませんが、やむを得ず身体拘束を行う場合は、ご家族に対する十分な説明と同意、身体拘束の三原則（切迫性・非代替性・一時性）を規定した身体拘束防止マニュアルに則った対応、児童発達支援計画への記載を行います。</div>	